

COIプログラム「COI 若手連携研究ファンド デジタル分野・連携研究」提案要領

平成 31 年度提案募集のポイント

1. 若手デジタルについて

- COI 各拠点の「目指すべき将来の姿」（拠点ビジョン）の実現に向け、社会実装に向けた研究開発を加速するうえで、近年発展の著しい「デジタル分野」関連技術との連携、その活用が大変有効であり、政府の掲げる「Society5.0」の実現にも寄与することが期待されます。
- そこで、AI/IoT 等 Society5.0 関連分野（デジタル分野）との連携・活用を特に若手研究者の力によって推進するため、当該分野に特化した新たな支援メニュー【若手デジタル連携研究】を開始します。これは、各 COI 拠点における取り組みとデジタル分野を掛け合わせた連携研究を推進するものです。
- 次世代を担うプロジェクトメンバーの積極的な提案を期待します。

2. 若手デジタル連携研究の概要

- 各拠点の「目指すべき将来の姿」から導出される出口像と AI、IoT 等 Society5.0 関連分野（デジタル分野）を掛け合わせた連携研究を推進。
- デジタル分野での人材育成や社会実装を加速する上で、海外機関（大学・企業等）や国内企業との連携を特に推奨。
- 原則として、初年度中に、連携候補と調整し連携先を決定（契約等の締結）した上で、翌年度まで研究開発を実施。

3. 提案対象

- 海外機関（大学・企業等）や国内大学・企業等との連携を企画する
 - イ) 若手研究者単独
 - ロ) 拠点間連携又は拠点外研究機関連携による若手研究者チーム
- 若手研究者の対象：
若手として 20 代、30 代を中心とした活動を想定していますが、年齢を問わず、次世代を担うプロジェクトメンバーを対象とします。ただし、教授職・教授相当職にある者は対象外とし、任期の定めのない准教授職・任期の定めのない准教授相当職は原則として 39 歳以下（連携研究開始年度 4 月 1 日現在）とします。
- 国内の拠点外研究機関連携による若手研究者チームからの提案では、採択後、当該研究機関は連携する拠点のいずれかに参画する必要があります。
- 海外の研究機関・研究者との連携を推奨します。ただし、当該海外研究機関等へ JST から委託研究開発費を支出することはありません。応募時には、連携先候補の海外研究機関等と何らかの合意を得ている必要はありません。
- 大学等や企業など参加する研究者の所属を問いませんが、COI プログラムとして、企業への研究開発費の配分はありません。

4. 支援規模

- 資金：連携研究テーマを構成する 1 課題あたり 400 万円上限／年（直接経費）
※国際連携に係る渡航費・滞在費については別途配分
- 支援期間：1 年度～2 年度（初年度中に連携先と契約等の締結が出来ない場合は 1 年度で終了）
- 支援件数：連携研究テーマ 10 件程度

5. スケジュール

- 募集開始 平成 31 年 2 月 1 日（金）
- 募集終了 平成 31 年 3 月 25 日（月）正午
- 面接審査 平成 31 年 5 月 15 日（水）（予備日：5 月 16 日（木））
- 選定結果の通知 平成 31 年 5 月下旬